

令和元年度
印教研国語研究部定期総会

1 開会の言葉

2 研究部長挨拶

3 議長選出、書記任命（5部会）

議長：

書記：

4 報告

(1) 平成30年度事業報告

- ・研修専門部
- ・ひざし専門部
- ・広報専門部

(2) 平成30年度決算報告

5 議事

(1) 平成30年度事業報告及び決算承認について

(2) 令和元年度事業計画及び予算の提案並びに承認について

- ・研修専門部
- ・ひざし専門部
- ・広報専門部

(3) 令和元年度の役員選出について

(4) 令和元年度印教研分散会組織について

6 長期研修生報告

印西市立西の原小学校 高橋めぐみ 先生

7 連絡事項

(1) 千葉県教育研究会より

(2) その他

8 新役員挨拶

9 閉会の言葉

※事務連絡（研究部事務局）

※全体会終了後、教研推進会議を行います。

次の先生方は、承認後、必ずご参加ください。

- 「話す・聞く」「書く」「読む」各分散会責任者
- 研修専門部役員
- 1～5部会研究部長

よろしく申し上げます。

場所：成田中学校1階 会議室

●研修専門部

1 研究主題

主体的・対話的で深い学びを育む国語科学習の創造

分散会(1) 生き生きと学び、「話す・聞く」力を高める国語科学習のあり方

分散会(2) 生き生きと学び、「書く」力を高める国語科学習のあり方

分散会(3) 生き生きと学び、「読む」力を高める国語科学習のあり方

2 平成30年度活動概要

5月 8日(火) 研究部総会

6月中・下旬 各部会教研研修会

6月20日(水) 教研推進委員会(教研集会の運営・役割分担等)

8月 7日(火) 教研全体集会担当者・係打合せ会議

8月28日(火) 教研全体集会(松山下運動公園・印旛公民館)

10月16日(火) 教研推進委員会(教研全体集会反省)

2月 8日(金) 教研推進委員会(本年度の反省と次年度の課題)

3 平成30年度教研全体集会

(1) 期日及び会場 平成30年8月28日(火) 9:30~16:30(受付9:00)

- ①「話す・聞く」分散会 松山下運動公園 多目的室 約100人
- ②「書く」分散会 松山下運動公園 サブアリーナ 約100人
- ③「読む」分散会 印旛公民館 大ホール 約250人

(2) 教研全体集会提案内容

分散会	研究主題	提案者	助言者・責任者・講演講師
話す・聞く 松山下運動公園	語彙を増やし、自分の思いを効果的に伝え合う授業の工夫	印西市立原山中学校 (3部会) 教諭 仲子 守江 教諭 永田 望	【助言者】 北総教育事務所 指導主事 三星 典子 様 印西市教育委員会指導課 指導主事 飯野 晋二 様 【責任者】 白井市立桜台小学校 教頭 伊藤 忠昭
	伝え合う力を高める指導の工夫 ～相手意識をもった話し合い活動を通して～	八街市立川上小学校 (4部会)	
書く 松山下運動公園	自分の思いや考えを進んで伝え合い、深めることができる児童の育成 ～書く活動を通して～	四街道市立旭小学校 (5部会) 教諭 藤井恵理香	【助言者】 北総教育事務所 指導主事 海寶 和宏 様 成田市立成田小学校 教諭 白石 厚子 様 【責任者】 佐倉市立佐倉小学校 教頭 松丸 晴久
	書き方を知り、書くことの楽しさを感じられる子どもの育成 ～構成力を高める指導の実践～	成田市立桜田小学校 (2部会) 教諭 宮本 和也 教諭 堀越 和子	

読む 印旛 公民館	主体的に読む力を育てる国語科教育 ～言語活動の充実を通して～	佐倉市立志津小学校 (1部会)	【助言者】 白井市教育委員会 学校政策課 主幹 大高一穂様 佐倉市教育委員会指導課 指導主事 若林 富美子様 【責任者】 佐倉市立西志津中学校 教頭 猪熊 浩文
	活用する力を育てる国語科学習指導	栄町立安食台小学校 (2部会) 教諭 篠田 高之 教諭 寺島 愛乃	

(3) 講演会

話す・聞く／書く (松山下運動公園)	東京学芸大学教育学部 准教授 中村 和弘 先生
読む (印旛公民館)	南房総教育事務所 指導室長 横田 経一郎 先生

*成果と課題の詳細については、平成30年10月16日付けの国語研究部研修専門部資料をご覧ください。

●ひざし専門部

1 「ひざし第71号」編集会議について

- 4月 下旬 専門部会議 (「ひざし」71号編集委員委嘱等準備)
- 5月 中旬 募集要項・編集委員委嘱依頼文書等の発送
- 7月 校内選考 一次選考までに各校学年ごとに選考
下旬 「ひざし」71号一次選考 (各部会で国語主任等参加)
 - ・一部会 7月25日 [場所:佐倉中央公民館]
 - ・二部会 7月25日 [場所:印旛教育会館]
 - ・三部会 7月26日 [場所:印西中央公民館]
 - ・四部会 7月25日 [場所:八街中学校]
 - ・五部会 7月24日 [場所:四街道北中学校]
- 8月 1日 「ひざし」二次選[場所:本埜公民館] (ひざし編集委員参加)
- 8月 8日 「ひざし」三次選[場所:本埜公民館] (ひざし編集委員参加)
(「努力賞賞状」「購入依頼文書」等発送)
- 9月 中旬 「ひざし」71号「入選・佳作者一覧表」「ちらし」「佳作・入選賞状」等発送
- 10月 3日 「ひざし」購入申込〆切
- 10月16日 「ひざし」71号校正会議[場所:印旛教育会館]
- 11月 9日 「ひざし」71号拠点校への配本
- 12月 下旬 「ひざし」71号配本完了
- 12月 下旬 寄贈本等発送

2 応募作品数 ※ () は前年比

	詩	文	短歌	俳句
小学校低学年分冊	758(-99)	476(+66)		2079(-134)
小学校高学年分冊	897(-158)	480(-41)	1492(+9)	2151(+351)
中学校分冊	605(-18)	797(-2)	687(-118)	857(-22)

※表紙の応募 小低51点 小高19点 中学校17点

3 反省と改善点等

【反省】

(1) 刊行に関して・・・小・中学校分冊とも12月に刊行

- ・小学校低学年分冊の表紙絵差し替えのため、多くの先生方に回収及び再配付のご協力をいただいた。ご迷惑をおかけしたことをお詫びすると共に、再発防止に努める。

(2) 選考に関して

- ・長年編集委員をしてくださっている先生方が徐々に減り、新しい方々で編集作業を進める分冊が出てきた。そのため、編集作業がスムーズに進まず、時間がかかってしまった分冊もあった。作業内容の引き継ぎ方を検討していく。
- ・応募数が多くなり、部門によっては編集作業の時間がかかってしまったところがあるので、編集委員の増員を検討している。異動に伴い、1つの学校から3名以上の編集委員を委嘱する形になる場合もあり、人選の検討が必要になる。委嘱をできるだけ早く適切に行えるよう、努力していく。
- ・選考にあたっての注意事項を部会ごとに配付したが、作品の氏名のゴム印もれ(名前のつぶれ)が目につき、名簿作成段階で漢字確認のために学校に電話することがしばしばあった。

【課題】

(1) 全体を通して

- ・氏名の印漏れ確認：ゴム印がつぶれている物は教師の手書きでもよい。
- ・原稿用紙の使い方や表記の仕方
書き出しの「 。」はあけずに1マス目から書く。
○「やったあ。」 ×「やったあ。」「やったー。」 文字の大きさや濃さ
- ・表紙のコピーは不可
- ・カット：学校である程度校内選をする。同じ児童が何点も応募しているケースあり
- ・応募に学校差が見られたので、多くの学校に出品していただきたい。(特に中学校)

(2) 小学校分冊

- ・詩 : 低学年は、1文があまり長くならない方がよい。
- ・文 : 会話や改行など、最後は担任の先生に確認していただきたい。
- ・短歌・俳句：特に3年生は作品数が多いので、校内選をしていただきたい。
標語にならないように俳句は季語を入れる。夏以外の作品も。
おおむね擬音語はカタカナ、擬態語はひらがなで表記

(3) 中学校分冊

- ・詩 : 家庭生活に関する作品も。推敲をして言葉の吟味を。
- ・文 : 構成力・表現力・語彙力を身につけて
- ・短歌・俳句 : 本人の直筆で出品していただきたい。

【その他】

(1) 注文冊数の増加に向けて

- ・各学校での「ひざし」の活用の工夫を促し、「ひざし」に関心をもつ児童・生徒を増やしながら、個人購入を呼びかけてもらうようにする。
- ・各学校への公費等による購入を依頼する。(早い段階で、分担して行う。)
- ・市町村立図書館などでの購入を依頼する。(早い段階で、分担して行う。)
- ・国語科をはじめとする学習活動や読書活動などでの活用等について広報する。

(2) ひざし用紙 1冊216円(100枚綴り)

- ・部会ごとに注文を集約し、永野印刷に注文

●広報専門部

1 研究部報「光原」の発行

事業計画に基づき、年間3号の発行に向けて編集会議を開催しながら、下記のように広報誌「光原」を発行した。

(1) 平成30年度実施報告

「光原」 第146号

* 発行日 平成30年7月14日

* 内容

- ・「言葉によるものの見方考え方を働かせた授業とは」

国語研究部長 久門 恵子 校長先生

- ・平成30年度国語研究部役員

- ・印教研集会案内(研究テーマ一覧)について

- ・「対話的に探究しながら書く児童の育成」 佐倉市立根郷小学校 荒木 達也 先生

- ・「ひざし71号」編集委員一覧

「光原」 第147号

* 発行日 平成30年12月14日

* 内容

- ・「子どもの学びを読み解く」

国語研究部副部長 半田 康 校長先生

- ・コラム

広報専門部副部長 菊地 文彦 先生

- ・教研集会を振り返って 研修専門部長

小林 すみ子 校長先生 他各分散会より

- ・中学校での言語活動を通じた授業改善

北総教育事務所指導主事 海寶 和宏 先生

- ・ひざし71号の編集を終えて

ひざし専門部長 佐藤 正子 教頭先生

「光原」 第148号

* 発行日 平成31年3月14日

* 内容

・「国語科の授業と学級経営」

国語研究部副部長 關 智之 校長先生

・コラム

広報専門部副部長 菊地 文彦 先生

・「県教研に参加して」

佐倉市立志津小学校国語研究部

八街市立川上小学校 和田 絵里香 先生

四街道市立旭小学校 藤井 恵理香 先生

・「子供も楽しめる国語教育を目指して」

佐倉市立西志津小学校 中野 靖子 先生

2 成果（○）と課題（●）

○巻頭言を始め各記事の原稿執筆に対して、毎号大変協力的に原稿をお寄せいただき、期日等にもご配慮いただき、感謝の一語に尽きます。ありがとうございました。

○余裕をもった原稿の依頼、編集、配布作業を心がけ、研究部員に確実に届くよう努めました。

●編集会議を1号につき2回程度（校正作業・発行作業等）、年に6回広報専門部役員で行い発行してきました。部会の編集委員の先生方には、配布を中心にお願いました。今後は、編集の効率化を図ったり、幅広くご意見等を伺う機会を作ったりして、より良い広報にしていきたいと考えます。

●今後も国語研究部員の方々の実践や声を反映できるような紙面作りを工夫し、より多くの研究部員の方々に読んでいただける広報となるよう、さらに努力していく必要があります。

平成30年度決算報告

※別紙参照

令和元年度事業計画

●研修専門部

1 研究主題

主体的・対話的で深い学びを育む国語科学習の創造

分散会（1）生き生きと学び、「話す・聞く」力を高める国語科学習のあり方

分散会（2）生き生きと学び、「書く」力を高める国語科学習のあり方

分散会（3）生き生きと学び、「読む」力を高める国語科学習のあり方

2 令和元年度活動概要

5月 8日（水）研究部総会

6月中・下旬 各部会教研研修会

6月中旬 教研推進委員会（提案検討会）

8月上旬日 教研全体集会担当者・教研実務会議

8月27日（火）教研全体集会

10月中旬 教研推進委員会（教研全体集会反省）

2月上旬 教研推進委員会（本年度の反省と次年度の課題）

3 令和元年度教研全体集会

分散会	研究主題（仮題）	提案者	助言者・責任者
話す・聞く 平岡自然の家	言葉で伝え合う力を身に付け、深まりのある話し合いができる児童の育成	印西市立小倉台小学校 (3部会)	【助言者】
	主体的に伝え合うことができる児童の育成	四街道市立吉岡小学校 (5部会)	【責任者】
書く 平岡自然の家	自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成 ～書く活動を通して～	佐倉市立井野小学校 (1部会)	【助言者】
	自分の思いや考えを表現できる子ども の育成 ～書き方を示す授業実践を通して～	成田市立本城小学校 南村 亜紀教諭 (2部会)	【責任者】
読む 印旛公民館	自分の考えを持ち、豊かに学びあう児童の育成 ～児童の読みを深める国語科授業を通して～	印西市立小林小学校 (3部会)	【助言者】
	主体的に読む活動に取り組み、自分の考えをもてる児童の育成	八街市立笹引小学校 (4部会)	【責任者】

4 日程（予定）

- (1) 午前：提案・討議2本。
- (2) 午後：助言者指導、講演会

5 講演会講師

話す・聞く／書く（平岡自然の家）	調整中
読む（印旛公民館）	調整中

●ひざし専門部

1 「ひざし」72号発行について

- 5月 下旬 専門部会議（「ひざし」72号編集委員委嘱等準備）募集要項発送
- 6月 中旬 編集委員委嘱依頼文書等の発送
- 7月 下旬 「ひざし」72号一次選[場所：各部会会場]
- 8月 6日 「ひざし」二次選[場所：本塾公民館]
- 8月 中旬 専門部会議（購入依頼文書等の準備）
- 8月23日 「ひざし」三次選[場所：本塾公民館]（「努力賞賞状」「購入依頼文書」等発送）
- 9月中旬 「ひざし」72号「入選・佳作者一覧表」「ちらし」「佳作・入選賞状」等発送
- 10月 3日 「ひざし」購入申込〆切
- 10月16日 「ひざし」72号校正会議（役員会）
- 10月 下旬 専門部会議（配本文書・拠点校依頼文書等の発送）
- 11月 上旬 「ひざし」72号拠点校への配本
- 11月 中旬 「ひざし」72号配本完了予定
- 12月 寄贈本等発送

☆応募について

- ・「ひざし」への取組の学校差があるので、多くの学校に応募していただけるよう、**国語主任宛の募集要項を総会後に部会長に配付する。**
（永野印刷さんから配付される青い紙の要項は、6月に配付）
- ・**著作権や人権に配慮して指導していただけるよう、文書で説明する。**
（後日、募集要項と共に、全校に配付する。）

- | | |
|---------|---|
| 《校内選》 | 「ひざし72号作品募集について」の〈校内選考における留意点〉〈選考規準〉を踏まえ、校内選を行う。（盗作、人権侵害防止） |
| 《部会選》 | ・確認してほしいことをチェックリストで確認する。
・出品名簿、応募一覧表、応募作品一覧表を二次選に提出する。 |
| 《二・三次選》 | ・確認してほしいことをチェックリストで確認する。 |

2 注文冊数の現状

	第69号	第70号	第71号	前年度比
小学校低学年分冊	1、819	1、882	1、846	-36
小学校高学年分冊	1、363	1、462	1、490	+28
中学校分冊	1、248	1、268	1、183	-85
総計	4、430	4、612	4、519	-93

3 『ひざし』を指導してくださる先生方へ 別紙

●広報専門部

- 広報誌「光原」を年間3号（第149号～151号）発行する。
- 各号に教育研究に関する記事を掲載し、教研活動に活用してもらえるよう紙面の充実を図る。
 - ・第149号 教研集会各分散会提案校の研究主題及び研究仮説 等
 - ・第150号 教研集会各分散会報告 等
 - ・第151号 県教研集会各分科会報告 等
- 巻頭言については、各号、研究部長・副部長・指導主事等に執筆を依頼する。
- 研究指定校の実践を紹介する等、研究部員が日常の実践に活用できるような記事の掲載に努める。
- 各号の発行に向けて、編集会議を年間6回程度開催する。
- より読みやすい紙面構成を目指し、A4版を継続し内容の充実を図る。

《「光原」発行予定》

- ・第149号… 7月中旬
巻頭言（研究部長等）、教研集会に向けて、「ひざし」編集委員紹介 等
- ・第150号… 12月中旬
巻頭言（研究副部長等）、教研集会報告、「ひざし」編集を終えて 等
- ・第151号… 3月上旬
巻頭言（研究副部長）、県教研集会報告、研究指定校の実践報告 等

令和元年度予算計画（案）

※別紙参照

令和元年度国語研究部役員 (案)

研究部顧問	玉井 清人 高梨 哲夫 久門 恵子	(酒々井町立大室台小学校校長) (佐倉市立西志津中学校校長) (印西市立西の原小学校校長)
1 研究部長	關 智之	(印西市立小林小学校校長)
2 研究副部長	半田 康 吉田 文江 石川 智彦	(成田市立公津の杜小学校校長) (白井市立七次台中学校) (成田市立豊住小学校校長)
3 研究部長委嘱		
(1) 研修専門部長	陣内 孝浩	(印西市立本埜小学校校長)
副部長	平川 千秋	(富里市立富里北中学校校長)
副部長	飯野 晋二	(印西市立西の原小学校教頭)
副部長	鈴木 正彦	(印西市立高花小学校教諭)
(2) ひざし専門部長	佐藤 正子	(佐倉市立白銀小学校教頭)
副部長	堀江真由美	(白井市立池の上小学校教頭)
副部長	坂尾 稔	(成田市立中台中学校教頭)
副部長	中野 靖子	(白井市立桜台小学校教頭)
副部長	上島 順子	(印西市立印西中学校教諭)
副部長	清水美也子	(白井市立南山小学校教諭)
(3) 広報専門部長	玉川 幸子	(四街道市立山梨小学校校長)
副部長	伊藤 忠昭	(白井市立第二小学校校長)
副部長	菊池文彦	(成田市立白井南中学校教諭)
副部長	斎藤秀樹	(八街市立八街北中学校教諭)
(4) 研究総務部長	磯 昌稔	(印西市立船穂中学校校長)
事務局長	山中 宣史	(佐倉市立染井野小学校教諭)
会計幹事	加藤 誠則	(酒々井町立酒々井小学校教諭)
	大野 香菜	(酒々井町立酒々井小学校教諭)
庶務幹事	小川 英彦	(成田市立遠山中学校教諭)
	荒木 達也	(佐倉市立根郷小学校教諭)
	門間 かな	(佐倉市立佐倉小学校教諭)
	土屋 裕允	(佐倉市立青菅小学校教諭)
4 千葉県教育研究会 (印旛支会幹事)	半田 康	(成田市立公津の杜小学校校長)
5 千葉県教育研究会国語教育部会印旛大会役員		
(1) 実行委員長	半田 康	(成田市立公津の杜小学校校長)
(2) 副委員長	野田 幸一	(印西市立滝野中学校校長)
	久門 恵子	(印西市立西の原小学校校長)
	關 智之	(印西市立木刈小学校校長)
	吉田 文江	(白井市立七次台中学校校長)
	石川 智彦	(成田市立豊住小学校校長)
(3) 大会事務局長	磯 昌稔	(印西市立船穂中学校校長)

※ 印教研分散会責任者

◎話す・聞く	戸谷 操	(印西市立西の原中学校教頭)
◎読む	猪熊 浩史	(佐倉市立西志津中学校教頭)
◎書く	松丸 晴久	(佐倉市立佐倉小学校教頭)

【各部会役員一覧】

部会	役割	氏名 (学校名)	専門部	担当分散会
1 部会	研究部長	小松田 早弓 (佐倉市立臼井小学校)	研修	書く
	副部長	鈴木 弘恵 (佐倉市立南志津小学校)	研修	書く
	副部長	齊藤 晶子 (佐倉市立佐倉中学校)	ひざし	話す・聞く
	副部長	野口 弘美 (酒々井町立酒々井中学校)	広報	読む
2 部会	研究部長	齋藤 みどり (成田市立前林小学校)	ひざし	話す・聞く
	副部長	澤口 光恵 (成田市立久住小学校)	ひざし	読む
	副部長	鞠子 侑次 (成田市立成田中小学校)	研修	話す・聞く
	副部長	小宮 裕美 (成田市立中台小学校)	研修	読む
	副部長	廣瀬 周子 (成田市立玉造中学校)	ひざし	書く
	副部長	駒野 和輝 (成田市立富里南中学校)	広報	書く
	副部長	小林 純子 (栄町立栄中学校)	広報	読む
3 部会	研究部長	加瀬 朝 (印西市立木刈中学校)	ひざし	話す・聞く
	副部長	角来 利子 (印西市立小倉台小学校)	広報	話す・聞く
	副部長	大岩 由美子 (印西市立原小学校)	研修	書く
	副部長	澤田 怜江 (白井市立池之上小学校)	ひざし	読む
4 部会	研究部長	朝倉 悠 (八街市立八街南中学校)	ひざし	書く
	副部長	須藤 佳代 (八街市立八街北小学校)	研修	読む
	副部長	岩井 敦 (八街市立八街東小学校)	広報	話す・聞く
5 部会	研究部長	柴田 真由美 (四街道市立みそら小学校)	ひざし	読む
	副部長	佐藤 侑紀 (四街道市立四街道中学校)	広報	話す・聞く
	副部長	富岡 典子 (四街道市立四街道小学校)	研修	話す・聞く
	副部長	郷田 亮子 (四街道中央小学校)	ひざし	書く

別紙

『ひざし』を指導してくださる先生方へ

著作権や人権に配慮しましょう

1 過年度の『ひざし』を参考に読ませるとき

優れた作品を読むことは大変勉強になります。しかし、盗作にならないように注意が必要です。表現や構成を参考にはしても、そのまま流用することがないように、児童生徒に指導するとともに、指導者も確認をお願いします。特に、短歌や俳句、詩などの短い作品は、参考にした作品と似てしまうことがあります。『ひざし』は最初に参考として読ませるにとどめ、作品を書くときには手元に置かせないというのも方法の一つです。

2 作文に好きな小説や歌の言葉を使うとき

引用の仕方を指導しましょう。どこまでが自分の文章で、どこからが引用した言葉かがわかるように「」でくくります。引用した作品名や作者名も文章中に表示した方がよいでしょう。

3 作文に友達が登場するとき

基本的には、名前が挙げられている友達には保護者の方に了承を取ってから応募するようお願いいたします。個人が特定される書き方、例えばフルネームで書く、所属や家族構成、保護者の勤務先などを具体的に書くなどということは避けてください。また、登場した友達にとって好ましくない書き方がされてないか、指導者も確認が必要です。

4 表紙絵やカットを描かせるとき

既存の作品の構図や色遣いを参考にして描かせることがないように注意してください。アニメや既存のキャラクターを思い起こさせるような作品もよくありません。

自分の考えや気持ちを人のまねではなく、自分で工夫して言葉や形にしたものを著作物と言います。児童生徒の作文や絵も、もちろん著作物です。その作文や絵を見たときに、他の似た作品が思い浮かぶという段階で、著作権法に触れる可能性があります。人権に関しても、時に児童生徒のまっすぐな表現が誰かを傷つけてしまう可能性があります。たとえ法に触れなかったとしても、その作品が『ひざし』を通して多くの人の目に触れ、どのように思われるのかを考えると、指導者が意識を高めていくことは大切です。作品の最後に「指導者〇〇先生」と指導者の名前が入るということは、その作品に指導者が責任をもって応募しなければならないということです。

児童生徒の豊かな心が綴られた『ひざし』をこれからもつないでいけるよう、ご協力をお願いいたします。